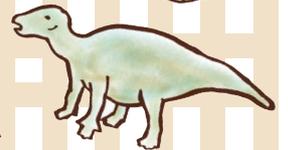


残したい

想いと風日常



高山市
庄川町

庄川化石調査推進委員

下島 志津夫さん

庄川はわくわくするような

化石が見つかるすごい場所！

ここから化石を見る目を持った
子どもたちが育ってほしいな



恐竜の化石発見！

1987年、旧庄川村で恐竜の歯の化石が発見され、大きな話題になりました。

当時村役場の職員だった下島志津夫さんは、「こんなすごいものが庄川で見つかるのか」と化石に興味を持つようになりました。

化石ハンターの道へ

初めて自分で見つけた恐竜の化石は、偶然手に取った石についていた「イグアノドン」の歯でした。その後は簡単にはいきませんが、次こそ現れるかもしれないと、化石探しに夢中になりました。
「ヴェロキラプトル類」の歯を発見できた時は、仲間と化石を囲んでお酒を飲み、涙が出るほどの喜びでした。

庄川町の化石

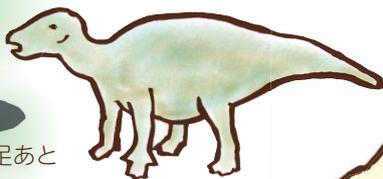


恐竜の卵

2022年、20年ほど前に庄川町で見つかった化石が、日本最古で新種の恐竜の卵殻だと分かりました。発見者の大倉正敏氏にちなんで、学名を「ラモプリズマトウーリトゥス・オオクライ」と命名されました。



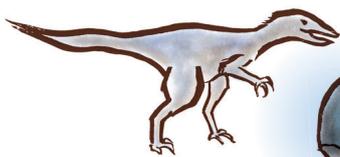
歯



足あと

イグアノドン

白亜紀前期に生息していた草食恐竜。



歯

ヴェロキラプトル

白亜紀後期に生息していた小型肉食恐竜。映画「ジュラシックパーク」にも登場しました。

手取層群

日本が大陸とつながっていた、約1億6千万年前(ジュラ紀)から1億2千万年前(白亜紀)にかけて堆積した地層。庄川町にある「露頭(地層が剥き出しになっている場所)」からは、恐竜をはじめ脊椎動物の化石が多く見つかっています。「サクラサウルス(トカゲ類)」「ショウカワイコイ(コリストデラという水生ワニ類)」など、新種が発見され庄川にちなんで学名がつけられた化石もあります。

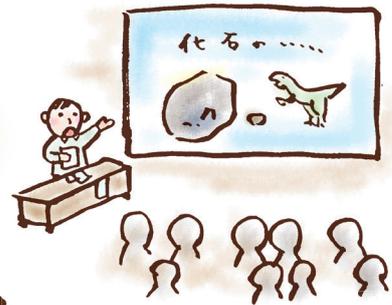
化石を知って欲しい！

多くの人に化石の魅力を
知ってもらうための
さまざまな試み



未来の化石ハンター

「恐竜探し隊」では、ハンマーやタガネで石を割って化石を探す、本格的な発掘を体験します。甲羅の形が分かる立派なカメの化石を小学生が発見したこともありました。



荘川化石フォーラム

学びの場としてはもちろん、「荘川でたくさんの研究者や参加者の交流の場を作りたい」という想いもこめて開催されました。

荘川化石フォーラム

化石に興味を持ってからは、古生物に関する学術大会や懇親会へも出かけるようになりました。そこには全国から化石が好きなお人が集まり、意見交換をして盛り上がりました。

研究者や学生の興味深い報告や、初心者でも楽しめるような面白い話にうなずきながら、化石の魅力を多くの人に伝えたいという想いが芽生えました。これがきっかけとなり、1999年から「荘川化石フォーラム」を開催するこ
とになりました。化石について幅広く知識を深められる内容にこだわり、カメの専門家、魚の専門家など、それぞれ得意分野を持つ研究者に講演を依頼しました。

荘川村時代に始まったこの化石フォーラムは、高山市との合併後も10年間継続した後、一旦終了しました。しかし岐阜県立博物館の主催で再び開催されることになり、今後も継続を模索しています。

化石を見る目を養う

化石を通して子どもの夢を育てる場として結成したのが「恐竜探し隊」です。子どもの観察力は素晴らしく、大人でもなかなか見つけられない化石を見つけて出す子もいます。こうした体験を通して、運良く目の前に化石が現れた時に見逃さない目を持った、次世代の子どもたちが育っていつてくれることに期待しています。

いま、伝えたいこと



(文・絵) 大森貴
画 高山市

最近になって、20年も前に荘川で見つかった化石が日本最古で新種の恐竜の卵やと分かったんです。化石の調査は根気があるけど、研究の役に立てた時はやっぱりうれしいな。いつか、恐竜1匹まるごと見つけられるような「化石を見る目」を持った子どもを育てることができるのは、高山市しかないと思っております。すごい化石が見つかる地域に暮らしてること、誇りに思ってもらいたいな。